

能「自然居士」下平 克宏

第9回

滝川一益公を偲ぶ

長昌寺能

令和6年

12月8日(日)

午後1時30分開演 於・昌賢学園まえばしホール 前橋市南町3-62-1
(午後12時30分開場) (前橋市民文化会館)・大ホール

入場料

S席：6,000円
A席：4,000円

申込方法

チラシ裏面の申込書に住所・氏名・電話番号を記載の上、FAXをお送りください。

スマホde解説のご案内

当日、お手元のスマートフォンで、会場内で配布する二次元コードを読み取るだけで、生ライブ解説を無料でお楽しみいただけます。スマートフォン用のイヤホンが必要になります。イヤホン(スマートフォン用)の貸出は行っておりませんので、必ずお持ちください。



藤波 重彦



野村 萬斎



下平 克宏



大槻 崇充

【主 催】長昌寺能運営委員会 【共 催】公益財団法人前橋市まちづくり公社

【後 援】前橋市教育委員会 前橋商工会議所 上毛新聞社 読売新聞前橋支局 毎日新聞社前橋支局 産経新聞社前橋支局
東京新聞前橋支局 群馬テレビ 株式会社 エフエム群馬

滝川一益公を偲ぶ 長昌寺能

13:30	御挨拶	長昌寺能運営委員会 前橋市長	石原 栄一 小川 晶
13:40	お話	群馬地域学研究所	手島 仁
13:50	独吟	羅生門	下平 克宏
	仕舞	玉鬘	大槻 崇充

地謡 川原 恵三
新江 和人
金子 聡哉
武田 崇史

一調

山姥

太鼓 藤波 重彦
大川 典良

14:20	狂言	舟渡智	船頭・舅 智 姑	野村 萬斎 野村 太郎 高野 和憲
-------	----	-----	----------------	-------------------------

(休憩 15分)

15:00	能	自然居士	自然居士 少女 人商人 人商人 門前の者 笛 小鼓 大鼓 後見	下平 克宏 萩原 英亮 殿田 謙吉 則久 英志 野村 裕基 藤田 貴寛 幸 正昭 安福 光雄 武田 尚浩 大松 洋一 大槻 崇充 藤波 重彦 藤波 重孝 川原 恵三 北浪 貴裕 小楡 山浩二 新江 和人 金子 聡哉 田口 亮二
-------	---	------	---	---

イヤホンガイド

15:50	御挨拶	長昌寺住職	栗木 信昌
-------	-----	-------	-------

長昌寺

群馬県能発祥の地

芳林山栄興院長昌寺(曹洞宗)は延徳元年(1489)、長野方業(まさなり)が厩橋城を築くとともに城内に大洞禪師を開山として創建した寺院。天正9年(1581)には火災で焼失し、城主の北条(きたじょう)高広(たかひろ)が現在地に再建。翌10年、武田氏を滅ぼした織田信長が関東管領として滝川一益を派遣すると、一益が厩橋城主となった。一益は支配下の諸将を城内に招き「玉鬘」を舞って見せ、長昌寺境内に本格的な能舞台をつくり、能興行を行った。これが記録に残る上州=群馬県での初めての能である。

神流川合戦で敗北した武將を長昌寺で供養し、よく戦った武將をねぎらい、別れの宴を開いた時も、能を演じ、能「羅生門」の一節を、一益と上州の武將が謡いあったという。



舟渡智 ふなわたしむこ

京都から琵琶湖畔の矢橋へ、妻の実家に初めて挨拶に向かう智が、大津松本から渡し舟に乗る。智の持つ土産の酒樽に目を付けた酒好きの船頭は、是非一献と所望する。智が断ると舟を激しく揺らしたり漕ぐのをやめたりして強要するので、仕方なく飲ませ、軽くなった酒樽を持って舅宅へ出向く。

やがて外出していた舅が帰宅するが、物陰から智の顔を見てびっくり仰天。舅こそが先程舟で酒を無理やり振舞わせた船頭だったのだ。舅は姑の勧めで髭を剃り、顔を隠して対面するのだが…

舞台全体を湖に見立て、舟に乗っている様子を棒一本で表現するなど、狂言のマイムとしての面白さがあります。舟を揺する場面では、舅と智両者の息の合った呼吸が要求され見応えがあります。松本は大津市内現存の地名で、矢橋は琵琶湖有数の港です。夕刻に戻ってくる帆掛け船の景色は「矢橋の帰帆」と言って近江八景の一つに数えられました。末尾の謡は中世の民謡です。



狂言「舟渡智」

自然居士 じねんこじ

修行僧・自然居士が説法をしている場に一人の少女が現れ、小袖を捧げ両親の回向を頼む。そこへ二人の男が現れ、少女を連れ去ってしまう。実は男たちは人商人で、小袖は少女が自分の身を売り、引き換えに得た物であったのだ。

居士は少女を救うべく、男達を追って行く。やがて琵琶湖湖畔で船に乗ろうとしている男達を見つけ、居士は彼らに、説法を邪魔された恨み事を述べ、更に少女を返すよう迫る。

居士の巧みな弁舌に、男達は少女を返すことになるのだが、然し只で返すわけにはゆかないと、居士に様々な芸をみせるよう交換条件を出す。

居士は屈辱ながら求めに応じ、舞を舞い、ササラを擦り、鞆鼓を打ってみせ、終に少女を連れ戻し、都へと帰るのであった。

居士と船頭との丁々発止のやりとり、また居士が見事に次々と繰り出す、芸づくしの数々が見所です。また萩原英亮君(群馬大学付属小2年)は、今回子方としての初の舞台です。

我が身を捨てて、少女を救出しようとする、勇敢で賢明な自然居士の活躍を描いた、観阿弥作の名曲です。

案内



※駐車場は詰め込み駐車となります。駅北口パークアンドライド(有料)をご利用ください。

申込書		FAX.027-280-5744	
問い合わせ先		ぐんラボ!制作室 027-280-5722	
住所	〒		
氏名			
電話番号	FAX 番号		
チケット申込み枚数	S席 6,000円	枚	A席 4,000円
			枚